



## 2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年5月20日

上場取引所 東

上場会社名 神鋼商事株式会社

コード番号 8075

URL <http://www.shinsho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 森地 高文

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 濱村 和裕

(TEL) 03-5579-5201

定時株主総会開催予定日 2020年6月25日

配当支払開始予定日

2020年6月5日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日~2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	936,031	△1.7	4,829	△39.0	3,943	△50.8	1,629	△67.5
2019年3月期	952,507	2.5	7,922	△2.4	8,016	△7.1	5,019	△7.9

(注) 包括利益 2020年3月期 839百万円(△72.2%) 2019年3月期 3,023百万円(△54.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	184.03	—	3.1	1.3	0.5
2019年3月期	566.81	—	9.7	2.7	0.8

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 577百万円 2019年3月期 747百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	284,477	54,571	18.4	5,920.30
2019年3月期	307,590	54,921	17.1	5,946.33

(参考) 自己資本 2020年3月期 52,423百万円 2019年3月期 52,654百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	12,747	△3,608	1,977	16,602
2019年3月期	△13,268	△1,990	2,104	5,552

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	55.00	—	55.00	110.00	974	19.4	1.9
2020年3月期	—	55.00	—	35.00	90.00	797	48.9	1.5
2021年3月期 (予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2021年3月期期末配当につきましては現時点では未定です。詳細は添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では未定です。詳細は添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況(2021年3月期の見通し)」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	8,860,562株	2019年3月期	8,860,562株
② 期末自己株式数	2020年3月期	5,714株	2019年3月期	5,618株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	8,854,894株	2019年3月期	8,854,952株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	760,698	△1.7	4,274	△1.4	4,372	△4.0	2,318	6.4
2019年3月期	773,925	△0.8	4,336	△7.4	4,552	△8.8	2,179	△24.8
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2020年3月期	261.78		—					
2019年3月期	246.08		—					

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
2020年3月期	205,784	—	38,355	—	18.6	4,331.15	—	
2019年3月期	222,809	—	37,696	—	16.9	4,256.62	—	

(参考) 自己資本 2020年3月期 38,355百万円 2019年3月期 37,696百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の個別業績予想につきましては、現時点では未定です。詳細は添付資料3ページ「

1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況（2021年3月期の見通し）」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（1）当期の経営成績の概況（2021年3月期の見通し）」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
(開示の省略) .....	15

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における世界経済は、中国経済の減速等がありましたが、2019年の末頃までは堅調な米国経済に支えられ、成長の伸びは鈍化したものの緩やかな回復が続きました。しかしながら、期末にかけて新型コロナウイルスの世界的流行による経済活動の大幅な抑制によって、景気は急激に減速し、先行き不透明で推移しております。わが国経済は、自然災害や消費税増税の影響に加えて新型コロナウイルスの感染拡大により、足下で大きく落ち込むとともに、先行きに深刻な影響が懸念される状況となりました。

このような環境の下、米国においては線材二次加工拠点である「Grand Blanc Processing, L.L.C.」での設備の増強を行い、生産能力の向上をはかってまいりました。中国では、アルミコイルセンター「蘇州神商金属有限公司」での設備増強を実施し、中国での新規の受注活動に注力してまいりました。

国内では、非鉄金属セグメントにおいて、グループシナジーの深化による一層の営業力強化を図ることを目的に、連結子会社である「コベルコ筒中トレーディング株式会社」と「中山金属株式会社」を合併し、「神鋼商事メタルズ株式会社」として2019年7月1日より営業を開始しました。

しかしながら、当連結会計年度の業績につきましては、米中貿易摩擦による景気減速等の影響により、売上高は9,360億31百万円（前連結会計年度比1.7%減）となりました。また、米国エネルギー業界の低迷による米国子会社の在庫評価損と貸倒引当金の計上等により営業利益は48億29百万円（同39.0%減）、経常利益は39億43百万円（同50.8%減）の大幅な減少となりました。さらに、当社が保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落した銘柄等を特別損失合計で約9億18百万円計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純利益は16億29百万円（同67.5%減）となりました。

事業セグメント別の主な営業状況は、以下のとおりであります。

#### ①鉄鋼セグメント

鋼板製品は、国内向け取扱量が減少し、価格は横ばいに推移しました。輸出向けは、取扱量が減少し、価格も下落しました。線材製品は、国内向けは取扱量が減少しましたが、価格が上昇しました。輸出向けは取扱量、価格ともに概ね横ばいで推移しました。

これらにより、鉄鋼セグメントの売上高は3,206億72百万円（前連結会計年度比2.2%減）となりましたが、米国エネルギー業界の低迷により、米国子会社の在庫評価損及び貸倒引当金を計上したこと等により、セグメント利益は2億63百万円（同93.1%減）となりました。

#### ②鉄鋼原料セグメント

輸入鉄鋼原料は、取扱量が増加しました。冷鉄源は取扱量が増加しましたが価格は下落しました。合金鉄並びにコークスブリーズは、取扱量が減少しました。

これらにより、鉄鋼原料セグメントの売上高は2,977億87百万円（前連結会計年度比1.6%増）となりましたが、海外投資先の市況低迷による収益悪化の影響により、セグメント利益は6億66百万円（同45.4%減）となりました。

#### ③非鉄金属セグメント

銅製品は、空調用銅管の取扱量が学校用空調の需要好調により増加しましたが、自動車向け端子用銅板条は、在庫調整及び半導体需要の低下により取扱量が減少しました。アルミ製品は、半導体向け及び液晶製造装置向け厚板の取扱量が減少しましたが、自動車向けアルミ板条の取扱量が増えました。非鉄原料は、銅スクラップの取扱量は増加しましたが、アルミ再生塊の取扱量が減少しました。

これらにより、非鉄金属セグメントの売上高は2,048億53百万円（前連結会計年度比8.4%減）、セグメント利益も13億95百万円（同17.9%減）となりました。

#### ④機械・情報セグメント

機械製品は、真空成膜装置、蒸気エネルギー関連機器、産業用ブレーキ等の取扱いは減少しましたが、大型圧縮機、重機用部材、電池用材料等の取扱いが増加しました。情報関連商品は、液晶用材料の取扱いが減少しましたが、ハードディスク関連機器やPC部品等が増加しました。

これらにより、機械・情報本部の売上高は679億80百万円（前連結会計年度比8.8%増）となり、セグメント利益は12億90百万円（同0.4%増）となりました。

#### ⑤溶材セグメント

溶接材料の取扱量は、国内は造船、自動車、建機向けが堅調に推移しましたが、鉄骨向けが減少し、輸出関連も減少しました。溶接関連機器は、鉄骨溶接ロボット、汎用溶接機の取扱いは堅調に推移しましたが、東アジア向けロボットの輸出が減少しました。生産材料は、溶剤原料の取扱量が国内外ともに減少しました。

これらにより、溶材セグメントの売上高は445億9百万円（前連結会計年度比1.8%減）となりましたが、セグメント利益は3億75百万円（同17.1%増）となりました。

(2021年3月期の見通し)

わが国経済の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続いており、世界経済やわが国経済に及ぼす影響の範囲・規模などは見通せない状況です。当グループの活動範囲はグローバルかつ多岐にわたっており、現時点においては業績予想の合理的な算定が困難であることから予想値の公表を見送ることといたします。なお、状況が改善し業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## (2) 当期の財政状態の概況

### ①資産、負債及び純資産の状況

当連結会計年度末日における総資産は2,844億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ226億16百万円減少しました。これは主に、受取手形及び売掛金と前払金の減少によるものです。負債合計は2,299億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ227億62百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金と電子記録債務が減少したことによるものです。

純資産は545億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億45百万円増加しました。これは主に、当期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

### ②連結キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ110億50百万円増加し、166億2百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、127億47百万円（前連結会計年度に比べ260億16百万円増加）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益30億64百万円、売上債権の減少額269億90百万円などの増加要因と仕入債務の減少額220億5百万円などの減少要因によるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、△36億8百万円（前連結会計年度に比べ16億17百万円減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出20億4百万円によるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、19億77百万円（前連結会計年度に比べ1億27百万円減少）となりました。これは主に、短期借入金の純増減額42億17百万円によるものであります。

## (3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つに位置づけており、企業体質の強化と将来の事業展開に必要な内部留保等を考慮しつつ、各期の業績に応じた配当を継続していくことを基本方針としております。

上記の方針に基づき、当連結会計年度の期末配当金につきましては、1株当たり35円とさせていただく予定であります。

なお、2021年3月期の配当金につきましては、業績予想等の合理的な算定が困難であることから、予想値の公表を見送ることといたします。業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいことから、当面は日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内同業他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向等を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,553	16,603
受取手形及び売掛金	182,963	155,324
電子記録債権	7,259	7,394
商品及び製品	46,176	45,154
仕掛品	703	762
原材料及び貯蔵品	1,640	1,145
前払金	16,050	10,453
その他	5,156	4,502
貸倒引当金	△129	△184
流動資産合計	265,373	241,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,681	8,232
減価償却累計額	△4,766	△4,863
建物及び構築物(純額)	2,914	3,368
機械装置及び運搬具	8,312	8,591
減価償却累計額	△5,226	△5,610
機械装置及び運搬具(純額)	3,086	2,980
土地	1,690	1,695
建設仮勘定	555	806
その他	1,455	1,467
減価償却累計額	△944	△891
その他(純額)	511	576
有形固定資産合計	8,758	9,428
無形固定資産		
のれん	157	71
ソフトウェア	441	735
諸施設利用権	26	21
その他	73	62
無形固定資産合計	699	891
投資その他の資産		
投資有価証券	28,146	27,848
出資金	1,564	1,564
長期貸付金	454	318
繰延税金資産	697	1,492
その他	2,782	3,865
貸倒引当金	△884	△2,088
投資その他の資産合計	32,760	33,001
固定資産合計	42,217	43,320
資産合計	307,590	284,477

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	139,067	120,368
電子記録債務	16,304	12,636
短期借入金	38,868	41,231
未払法人税等	743	823
賞与引当金	1,009	1,050
預り金	9,328	7,925
その他	18,852	16,881
流動負債合計	224,174	200,917
固定負債		
長期借入金	23,685	24,549
預り保証金	1,645	1,667
繰延税金負債	1,011	942
役員退職慰労引当金	89	103
退職給付に係る負債	895	848
その他	1,168	878
固定負債合計	28,494	28,988
負債合計	252,669	229,906
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,645	2,608
利益剰余金	42,133	42,789
自己株式	△17	△17
株主資本合計	50,412	51,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,480	1,680
繰延ヘッジ損益	△33	61
為替換算調整勘定	△205	△349
その他の包括利益累計額合計	2,241	1,392
非支配株主持分	2,266	2,147
純資産合計	54,921	54,571
負債純資産合計	307,590	284,477

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	952,507	936,031
売上原価	920,890	906,098
売上総利益	31,616	29,933
販売費及び一般管理費	23,693	25,103
営業利益	7,922	4,829
営業外収益		
受取利息	119	137
受取配当金	841	885
仕入割引	62	57
持分法による投資利益	747	577
雑収入	380	382
営業外収益合計	2,150	2,041
営業外費用		
貸倒損失	—	277
支払利息	1,151	1,212
売掛債権譲渡損	369	387
売上割引	220	216
為替差損	113	417
デリバティブ評価損	125	234
雑損失	76	181
営業外費用合計	2,057	2,927
経常利益	8,016	3,943
特別利益		
投資有価証券売却益	210	—
負ののれん発生益	152	—
出資金売却益	—	39
特別利益合計	362	39
特別損失		
減損損失	31	—
投資有価証券評価損	1,498	894
会員権評価損	3	24
特別損失合計	1,533	918
税金等調整前当期純利益	6,845	3,064
法人税、住民税及び事業税	2,033	1,974
法人税等調整額	△262	△645
法人税等合計	1,771	1,328
当期純利益	5,074	1,735
非支配株主に帰属する当期純利益	55	106
親会社株主に帰属する当期純利益	5,019	1,629

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	5,074	1,735
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△848	△811
繰延ヘッジ損益	△151	94
為替換算調整勘定	△800	△185
持分法適用会社に対する持分相当額	△251	6
その他の包括利益合計	△2,050	△896
包括利益	3,023	839
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,070	1,276
非支配株主に係る包括利益	△46	59

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,650	2,645	38,370	△17	46,648
当期変動額					
剰余金の配当			△1,062		△1,062
持分法適用会社の減少に伴う利益剰余金減少高			△192		△192
親会社株主に帰属する当期純利益			5,019		5,019
自己株式の取得				△0	△0
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減				0	0
連結子会社株式の取得による持分の増減		0			0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	3,763	△0	3,764
当期末残高	5,650	2,645	42,133	△17	50,412

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	3,338	117	734	4,190	2,886	53,725
当期変動額						
剰余金の配当						△1,062
持分法適用会社の減少に伴う利益剰余金減少高						△192
親会社株主に帰属する当期純利益						5,019
自己株式の取得						△0
持分法適用会社に対する持分変動に伴う自己株式の増減						0
連結子会社株式の取得による持分の増減						0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△857	△151	△940	△1,948	△619	△2,568
当期変動額合計	△857	△151	△940	△1,948	△619	1,195
当期末残高	2,480	△33	△205	2,241	2,266	54,921

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,650	2,645	42,133	△17	50,412
当期変動額					
剰余金の配当			△974		△974
親会社株主に帰属する当期純利益			1,629		1,629
自己株式の取得				△0	△0
連結子会社株式の取得による持分の増減		△37			△37
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△37	655	△0	617
当期末残高	5,650	2,608	42,789	△17	51,030

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	2,480	△33	△205	2,241	2,266	54,921
当期変動額						
剰余金の配当						△974
親会社株主に帰属する当期純利益						1,629
自己株式の取得						△0
連結子会社株式の取得による持分の増減						△37
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△800	94	△143	△848	△119	△968
当期変動額合計	△800	94	△143	△848	△119	△350
当期末残高	1,680	61	△349	1,392	2,147	54,571

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	6,845	3,064
減価償却費	1,562	1,384
のれん償却額	93	86
各種引当金の増減額(△は減少)	403	1,318
受取利息及び受取配当金	△960	△1,023
支払利息	1,151	1,212
持分法による投資損益(△は益)	△747	△577
負ののれん発生益	△152	—
減損損失	31	—
投資有価証券等評価損益(△は益)	1,498	894
売上債権の増減額(△は増加)	△17,363	26,990
たな卸資産の増減額(△は増加)	△15,049	1,207
仕入債務の増減額(△は減少)	12,287	△22,005
未収入金の増減額(△は増加)	△24	△697
その他営業活動によるキャッシュ・フロー	25	2,570
小計	△10,398	14,425
利息及び配当金の受取額	1,028	1,188
利息の支払額	△1,109	△1,200
法人税等の支払額	△2,789	△1,665
営業活動によるキャッシュ・フロー	△13,268	12,747
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,098	△2,004
有形固定資産の売却による収入	94	12
投資有価証券等の取得による支出	△68	△426
投資有価証券等の売却による収入	318	29
短期貸付けによる支出	△0	△2
短期貸付金の回収による収入	1	2
長期貸付けによる支出	△416	△494
長期貸付金の回収による収入	6	18
その他投資活動によるキャッシュ・フロー	△826	△743
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,990	△3,608

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,032	4,217
長期借入れによる収入	6,719	1,950
長期借入金の返済による支出	△6,879	△2,711
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△223	△191
配当金の支払額	△1,062	△974
非支配株主への配当金の支払額	△68	△74
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△412	△238
その他財務活動によるキャッシュ・フロー	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,104	1,977
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△315</b>	<b>△66</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△13,470	11,050
現金及び現金同等物の期首残高	19,022	5,552
現金及び現金同等物の期末残高	5,552	16,602

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

### 1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものがあります。

当社グループは、本社に商品別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱う商品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは事業本部を基礎とした商品別セグメントから構成されており、「鉄鋼」、「鉄鋼原料」、「非鉄金属」、「機械・情報」及び「溶材」の5つを報告セグメントとしております。

「鉄鋼」は、線材、薄板、厚板を中心に、鋳鍛鋼、チタン、鉄粉などを国内及び海外へ販売しております。「鉄鋼原料」は、主に(株)神戸製鋼所へ石炭、鉄鉱石、合金鉄などを国内及び海外から調達し、販売しております。「非鉄金属」は、主に自動車、空調向けのアルミ・銅製品を国内及び海外へ販売しております。「機械・情報」は、主に産業機械、化学機械などを国内及び海外へ販売しております。「溶材」は、主に溶接材料、溶接機などを国内及び海外へ販売しております。

### 2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	調整額	合計
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	327,942	292,969	223,661	62,466	45,316	952,356	150	—	952,507
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2	—	15	18	246	△265	—
計	327,942	292,969	223,663	62,466	45,332	952,375	397	△265	952,507
セグメント利益又は 損失(△)	3,819	1,220	1,700	1,285	320	8,346	△330	—	8,016
セグメント資産	134,507	34,348	82,213	32,735	20,446	304,251	210	3,128	307,590
その他の項目									
減価償却費	652	155	262	117	68	1,256	305	—	1,562
受取利息	18	32	54	6	7	119	0	—	119
支払利息	514	122	272	165	72	1,148	3	—	1,151
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	349	213	575	181	44	1,365	0	—	1,365

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	調整額	合計
	鉄鋼	鉄鋼原料	非鉄金属	機械・情報	溶材	計			
売上高									
外部顧客への売上高	320,672	297,787	204,851	67,980	44,505	935,798	233	—	936,031
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2	—	4	6	265	△271	—
計	320,672	297,787	204,853	67,980	44,509	935,804	498	△271	936,031
セグメント利益又は 損失(△)	263	666	1,395	1,290	375	3,992	△48	—	3,943
セグメント資産	124,081	28,219	71,833	31,819	18,519	274,473	216	9,787	284,477
その他の項目									
減価償却費	655	184	296	138	73	1,349	34	—	1,384
受取利息	28	32	57	6	12	137	0	—	137
支払利息	654	106	218	158	71	1,209	2	—	1,212
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	1,150	320	441	319	196	2,427	3	—	2,431

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	952,375	935,804
「その他」の区分の売上高(注)	397	498
セグメント間取引消去	△265	△271
連結財務諸表の売上高	952,507	936,031

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	8,346	3,992
「その他」の区分の利益(注)	△330	△48
連結財務諸表の経常利益	8,016	3,943

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	304,251	274,473
「その他」の区分の資産(注1)	210	216
全社資産(注2)	3,308	9,994
セグメント間取引消去等	△180	△207
連結財務諸表の資産合計	307,590	284,477

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社の余資運用資産(現預金)、長期投資資金(投資有価証券)であります。

(単位:百万円)

その他の項目	報告セグメント計		その他(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	1,256	1,349	305	34	1,562	1,384
受取利息	119	137	0	0	119	137
支払利息	1,148	1,209	3	2	1,151	1,212
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,365	2,427	0	3	1,365	2,431

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

5 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法)

第1四半期連結会計期間より、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、セグメント間取引の調整方法及び当社の共通費等の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失、資産、その他の項目の算定方法の変更を行っております。

前第4四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメント利益又は損失、資産、その他の項目の算定方法により作成したものを記載しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	5,946円33銭	5,920円30銭
1株当たり当期純利益	566円81銭	184円03銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	5,019	1,629
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社に帰属する 当期純利益 (百万円)	5,019	1,629
普通株式の期中平均株式数 (千株)	8,854	8,854

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(開示の省略)

上記以外の注記事項につきましては、決算短信における開示の必要性が大きいと考えられるため、開示を省略しております。